

マクロ経済動向分析12・1月

中国経済は新型コロナの影響を脱却？
米中関係はなお先行き不透明

慶應義塾大学
駒形哲哉研究会

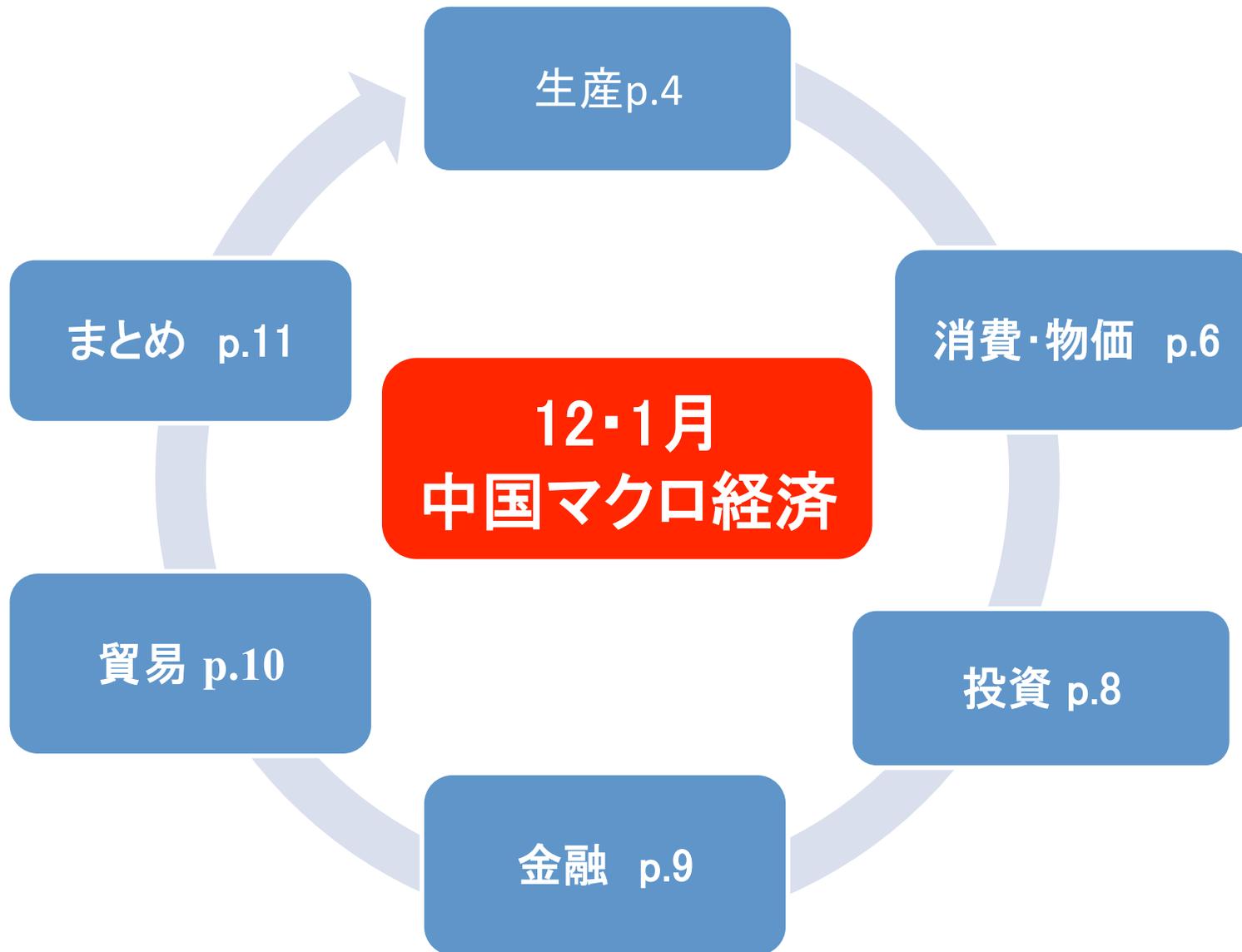
1. 12・1月のポイント

中国経済が2020年末までに新型コロナの影響から基本的に脱却したことを示したが、前年比の成長率は2.3%と1992年以来の最低水準を記録した。消費関連では、社会消費小売総額や新車販売台数はプラスを記録したものの、依然として所得の回復に課題を残している。

米中の貿易交渉を巡る「第1段階の合意」は1年が経過したが、中国による米国製品の購入は目標の6割弱にとどまり、両国に募った不信感は簡単に消えそうにない。

2020年の貿易黒字は5350億ドルとなり、前年比27%増となり、2015年(約5900億ドル)に次ぐ過去2番目の水準に達した。

2. 今月の目次

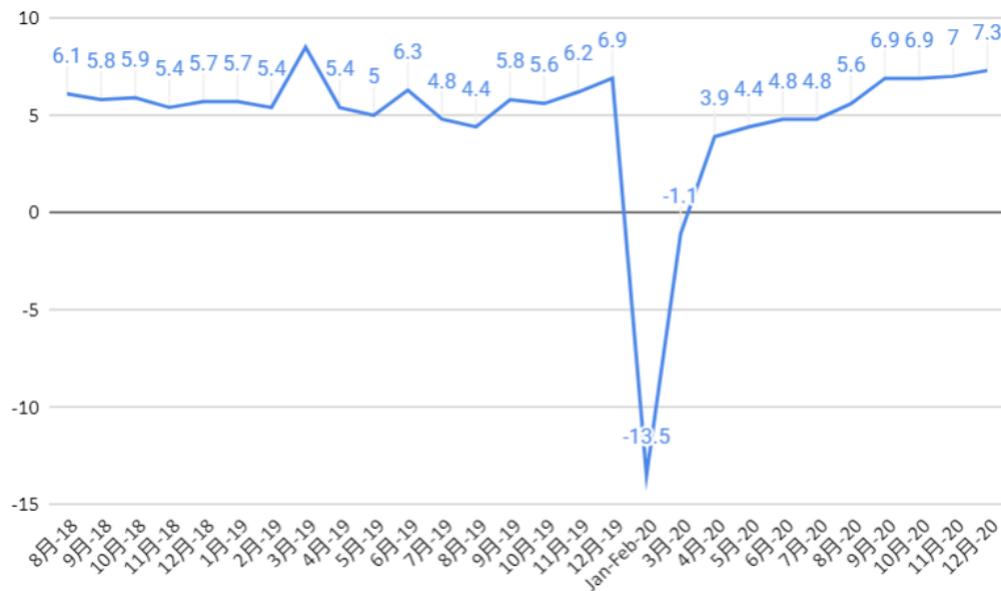


3.生産

2020年の中国GDPは第2四半期よりプラスへ、財政出動による第1・2次産業がけん引

前月から0.3ポイント上昇

図表1:工業付加価値生産額伸び率(単位:%)



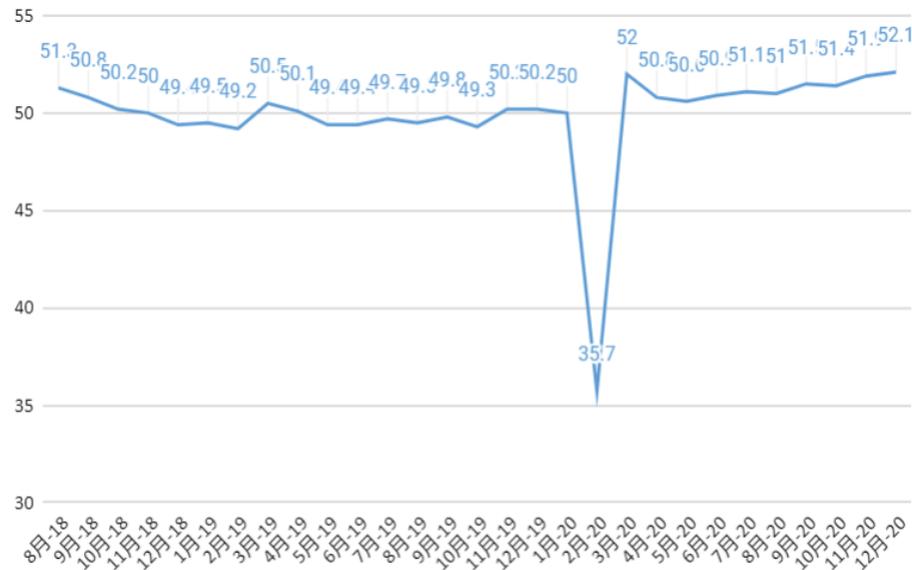
(出所)国家统计局より作成

12月の工業付加価値生産額伸び率は7.3と、先月より0.3ポイント上昇した。

3.生産

2020年の中国GDPは第2四半期よりプラスへ、財政出動による第1・2次産業がけん引

図表2:製造業購買担当者景気指数(PMI)



前月から0.3ポイント上昇

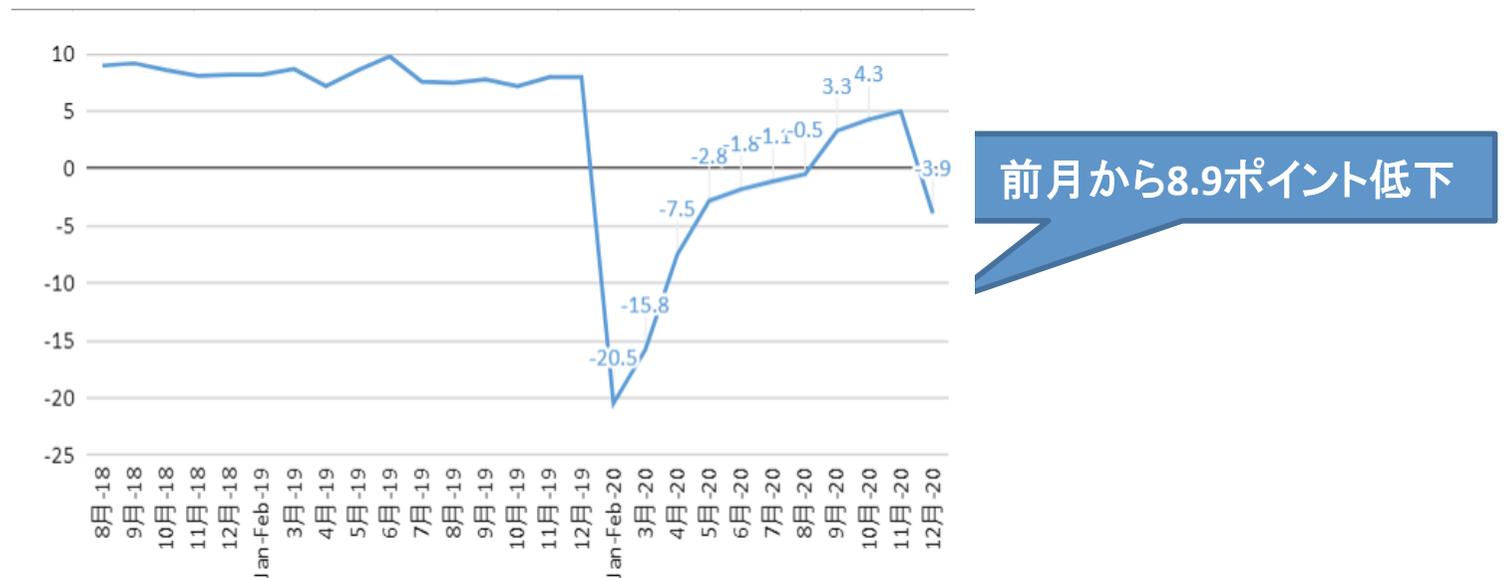
(出所)国家統計局より作成

12月の製造業購買担当者景気指数(PMI)は52.1となり、第2四半期以降3期連続で50を上回った。

4.物価・消費

通年では様々な指標が回復するも、 所得などに課題

図表3: 社会消費品小売総額伸び率(単位:%)



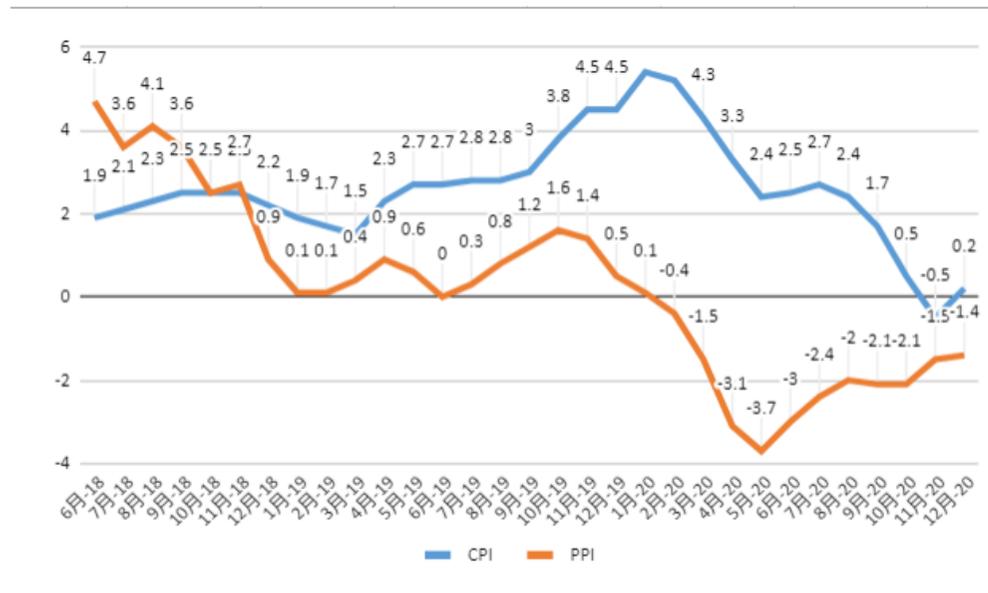
(出所)国家統計局より作成

8月の社会消費小売総額は4兆566億元で前年同月比4.6%増となり、伸び率は先月から0.4ポイント下落した。地域別では、都市部で4.4%減、農村部では5.9%減となった。1-12月の社会消費小売総額は39兆1981億元で、前年同月比3.9%減となった。

4.物価・消費

通年では様々な指標が回復するも、 所得などに課題

図表4: 消費者物価指数(CPI)及び生産者物価指数(PPI)(単位:%)



前月から0.7ポイント上昇

前月から0.1ポイント上昇

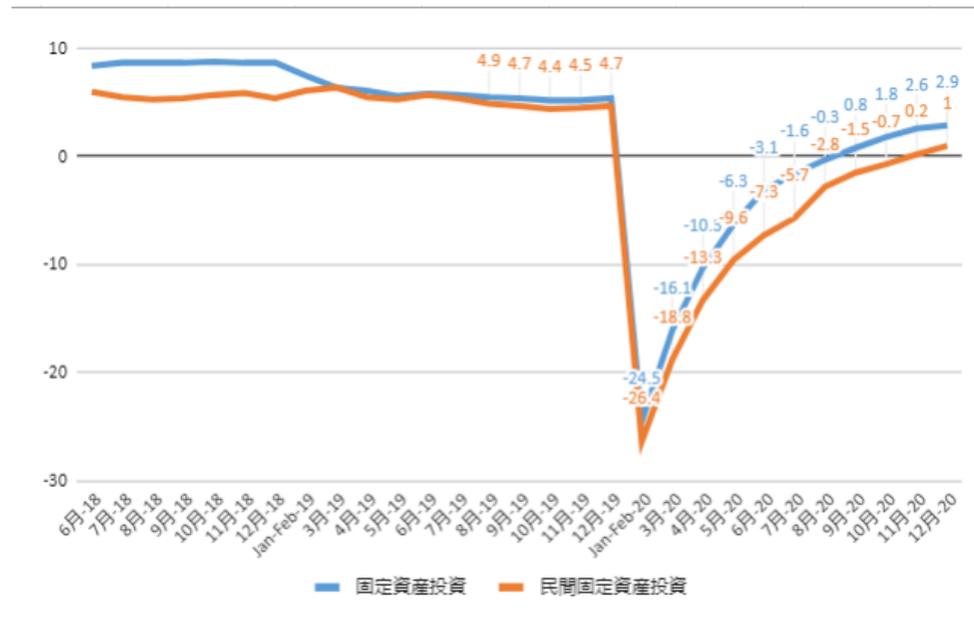
(出所)国家统计局より作成

12月の卸売物価指数(PPI)は前年同月比0.4%減で先月より0.1ポイント上昇した。消費者物価指数(CPI)は前年同月比0.2%増となり先月から0.7ポイント上昇した。

5.投資

ハイテク投資好況、半導体の内製化に影

図表5:固定資産投資及び民間固定資産投資伸び率(単位:%)



前月から0.3ポイント上昇

前月から0.8ポイント
上昇

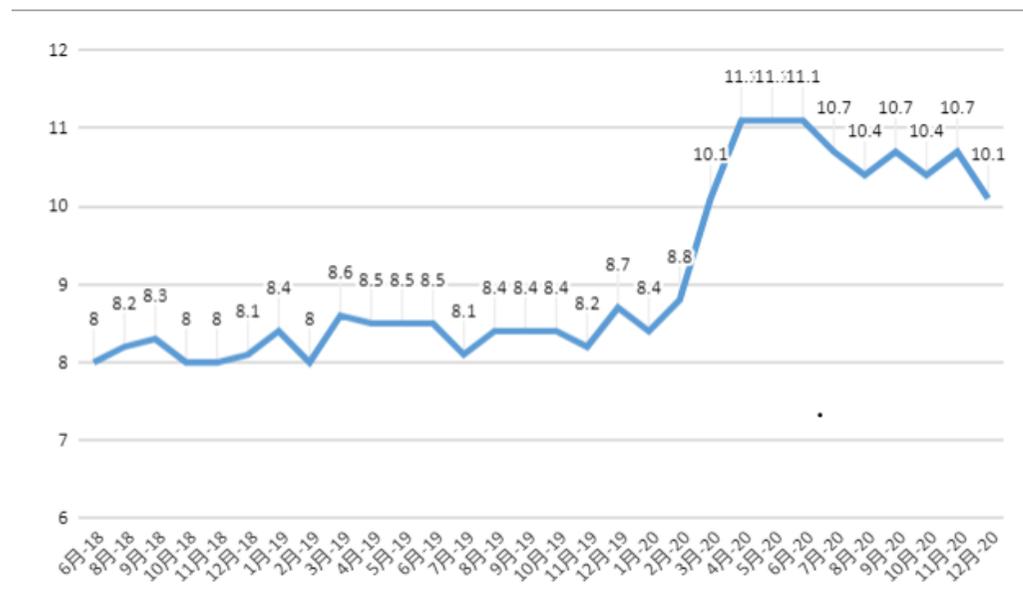
(出所)国家統計局より作成

2020年1-12月の固定資産投資は前年同期比2.9%増であり、1-11月は2.6%増となった。

6.金融・財政

2021年は財政縮小、ネット金融への締め付け強化

図表6: 通貨供給量(M2)の伸び率(単位:%)



前月から0.6ポイント低下

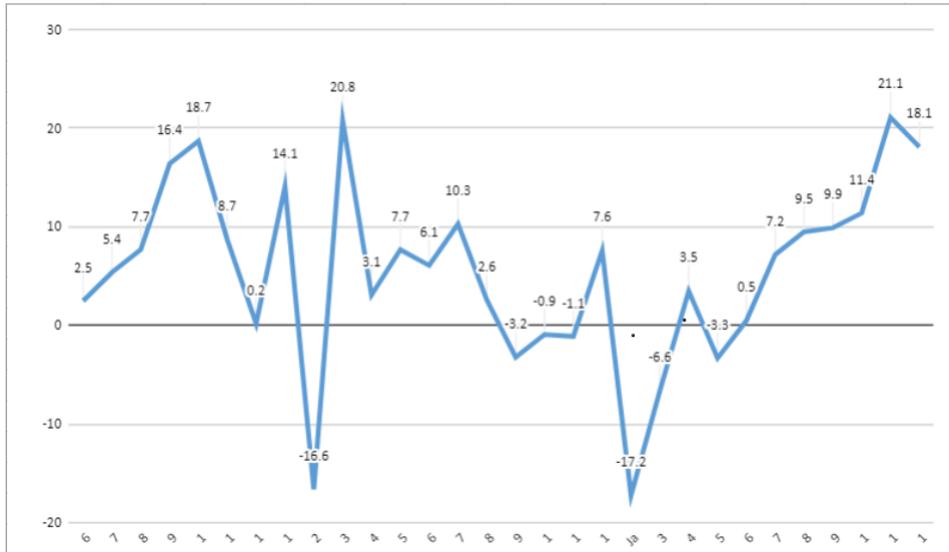
(出所)国家統計局より作成

2020年11月のマネーサプライ(M1)は前年同月比 10.0%増の61兆8600億元となり、12月は前年同月比8.6%増の62兆5600億元となった。

7.貿易

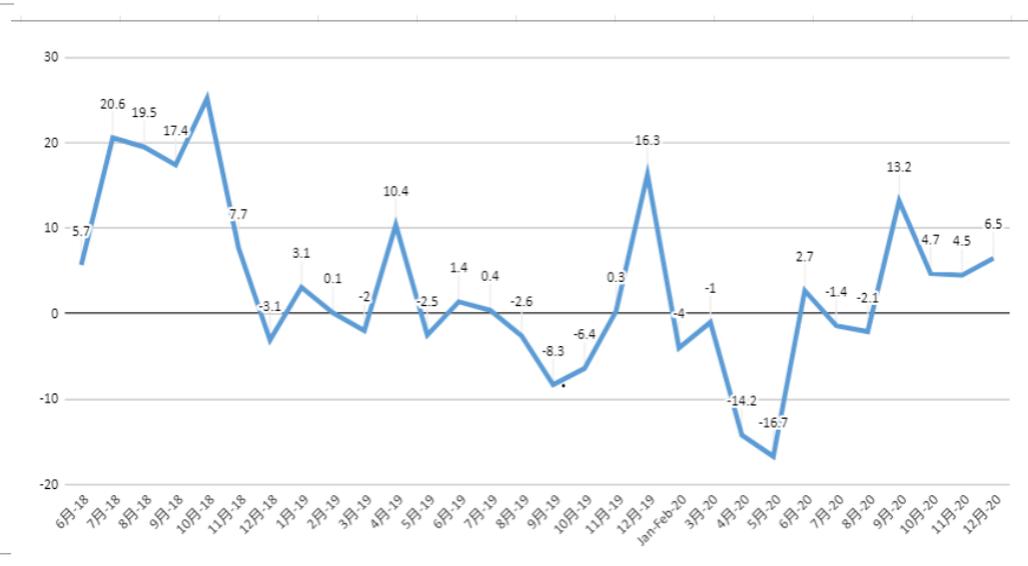
2020年対米貿易黒字拡大、米中対立の先は不明瞭

図表7: 輸出の伸び推移(単位:%)



(出所)海関総署より作成

図表8: 輸入の伸び推移(単位:%)



(出所)海関総署より作成

2020年1-12月の輸出入総額は4兆6462億ドルとなり、前年比1.5%増となった。輸出額は2兆5906億ドルとなり、前年比3.6%増となった。輸入額は前年比1.1%減の2兆556億ドルとなった。

12・1月のまとめ

生産

- ・ 1-12月の社会消費小売総額は39兆1981億元で、前年同月比3.9%減となったが、ネット小売総額は前年同期比10.9%増の11兆7601億元となり、中国のネット依存が強まった1年となった。

物価・消費

- ・ 1-12月の社会消費小売総額は39兆1981億元で、前年同月比3.9%減となったが、ネット小売総額は前年同期比10.9%増の11兆7601億元となり、中国のネット依存が強まった1年となった。

固定資産投資

- ・ 2020年1-12月の固定資産投資は前年同期比2.9%増であり、1-11月は2.6%増だった。依然として不動産投資、インフラ投資による影響が大きく、さらに今後は5G基地局などの次世代インフラによる投資増も見込まれる。

金融

- ・ 新型コロナウイルスへの対応として人民銀行が緩和的な政策を維持したことにより、2020年を通しての社会融資は前年に続き過去最高を更新した。

貿易

- ・ 2020年の貿易黒字は5350億ドルとなり、前年比27%増となり、2015年に次ぐ過去2番目の水準に達した。2020年の輸出をけん引したのは新型コロナ関連の製品である。